

ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

RFID棚卸業務効率化システム

富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、先進国を含めた世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。その目標達成に向けて、民間企業の技術やイノベーション力を積極的に役立てていくことが強く求められています。富士通グループは、かねてより、共創を通じて持続的に社会にインパクトを与える成果を生み出す、「ヒューマンセントリック・インテリジェント ソサエティ」の実現を目指して、テクノロジーを活用するとともに新たなイノベーションを創造してきました。この活動と、国際社会がSDGsの達成に向けて取り組む方向性は、一致していると認識しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

SDGs(Sustainable Development Goals)

2030年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定してきました。現在もGHG排出量の削減効果を算定し毎年報告しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>

環境貢献 検索



RFID棚卸業務効率化システム

- ・棚卸作業は、会社の売上を調べるための重要な作業ですが、従来は大人数で長時間かけて、商品を单品ごとに確認しなければならず、従業員にとって大きな負担となっていました。また、手作業で行うため棚卸の精度にバラツキがありました。当システムは、読み取り精度の高いRFIDを利用し商品单品ごとではなく、棚ごとに商品を一括で確認することができ、少人数かつ短時間で棚卸作業を行うことが可能となり、棚卸精度のバラツキも改善できます。加えて、作業工数が減ることにより、地球温暖化対策としてのCO₂排出量の削減にもつながります。

「環境貢献ソリューション」の提供により、SDGsへ貢献します。

- ・「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



RFIDを活用した業務の効率化と環境負荷の低減

システム概要

「RFID棚卸業務効率化システム」を導入することで、少人数、短時間で棚卸作業を実現します。従来の方法では手作業により商品を単品ごとに確認する必要があったため、大人数かつ長時間の作業が発生していました。また、従業員が手作業で行うため、棚卸の精度にバラツキが出てしまい、正確な在庫情報を確認することが難しくなっていました。

当システムを導入することで、商品単品ごとではなく、棚ごとに商品を一括で確認を行うことができます。これにより、少人数、短時間で作業が可能となり、従業員の負担を大幅に削減できます。

また、商品個数のカウントは、手作業ではなくRFID機器を利用した読み取り方式のため、従業員ごとでバラツキのあった棚卸精度を改善することが可能となります。結果として、作業工数の削減により、CO₂排出量の削減にも貢献します。

効果

・ CO₂排出量の削減効果：約76% ※富士通フロンテック試算

・ 棚卸作業時間の短縮（400店舗、棚卸年2回で試算）

【導入前】400店舗×年2回×10人×8時間＝約64,000時間／年

【導入後】400店舗×年2回×2人×2時間＝約3,200時間／年

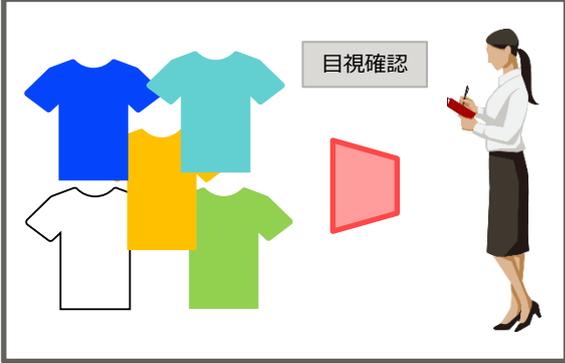
⇒棚卸の人数が10人→2人、作業時間が8時間→2時間に減ることで年間約60,800時間の作業時間を削減。

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、お客さまの運用状況などにより結果が異なることを予めご承知おきください。

「RFID棚卸業務効率化システム」の導入によって何故業務が効率化されるのか？

商品単品ではなく、RFIDで棚ごとに商品をまとめて読み取ることができるため、必要な作業人数、作業時間を大幅に削減することができます。

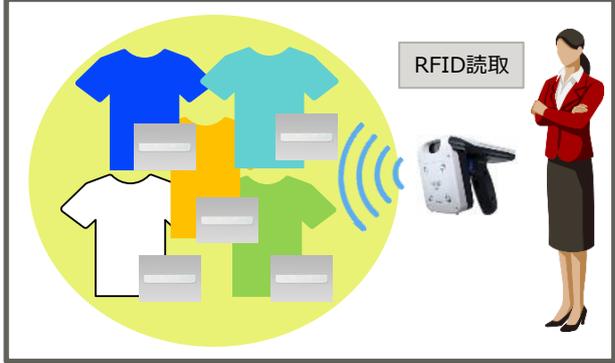
導入前



目視確認

- ◎ 商品単品を手作業でカウントする必要があるため、大人数、長時間の作業となる。
- ◎ 作業によって棚卸精度にバラツキが発生。

導入後



RFID読取

- ◎ 棚ごとに商品を一括で読み取るため、少人数、短時間で作業が可能！
- ◎ 棚卸精度を改善することが可能！

お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

フロントソリューション事業本部 CPS事業部

Webによるお問い合わせ：<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/>